

平成30年度教育予算主要事業(大綱の体系)

☆:新規事業 ★:拡充事業

【一次提言】:仙台市いじめ対策等検証専門家会議からの第一次提言に関連する事業

【基本方針1】いじめ撲滅に向けた施策の総合的な推進	
① いじめの未然防止・予防の徹底	
○ 豊かな情操や道徳心, 自己肯定感や自己有用感の育成	
・ いじめ対策推進 (いじめ防止「きずな」キャンペーン等) 【一次提言】	10,596千円
・ 自死予防教育の推進 【一次提言】	589千円
○ 「中1ギャップ」解消のための小中連携の推進	
・ 中1 数学少人数指導の実施	59,996千円
・ 小学校高学年教科担任制の実施	33,911千円
・ 小中連携の推進	360千円
② いじめの早期発見・早期対応	
○ 教職員の対応力向上のための研修の充実	
・ いじめ防止関連研修 【一次提言】	624千円
・ 心のケア緊急支援	370千円
○ 子どもや保護者がいつでも相談できる窓口設置, 教員のための相談窓口の設置	
・ 24時間いじめ相談専用電話設置 【一次提言】	13,732千円
☆ SNSを活用したいじめ相談 【一次提言】	6,918千円
☆ スクールロイヤーによる学校支援 【一次提言】	1,660千円
・ 教職員相談支援室事業 【一次提言】	7,081千円
③ 教職員が子どもに向き合える体制づくり	
○ いじめ対策を最優先とした教職員の配置	
・ 全市立中学校等へのいじめ対策専任教諭の配置 【一次提言】	544,000千円
★ 小学校への児童支援教諭の配置 【一次提言】	524,887千円
★ いじめ対策支援員配置 【一次提言】	52,332千円
★ スクールカウンセラーの配置 【一次提言】	153,039千円
★ スクールソーシャルワーカーの活用 【一次提言】	23,033千円
・ インターネット巡視の実施	5,389千円
・ 生徒指導 (問題行動対策)	6,407千円
・ さわやか相談員の配置 【一次提言】	19,515千円
・ 自立支援指導員の派遣 【一次提言】	2,773千円

【基本方針1】いじめ撲滅に向けた施策の総合的な推進(続き)	
③ 教職員が子どもに向き合える体制づくり(続き)	
○ 教職員の多忙化解消の取組み	
☆ 35人以下学級の拡充【一次提言】	308,016千円
・ 校務支援システム導入【一次提言】	54,368千円
・ 学校給食公会計化推進【一次提言】	150,390千円
・ 学校事務の共同実施及び事務補助員の配置	7,389千円
○ 県費負担教職員の権限移譲を踏まえた体制づくり	
・ 仙台市教員採用選考の実施	11,360千円
④ 家庭や地域との連携強化	
○ 地域社会全体での子どもの育成	
・ 学校支援地域本部の充実	42,039千円
☆ コミュニティ・スクールの実施検討【一次提言】	506千円

【基本方針2】学力・体力の向上や規範意識の醸成などを核とする学校教育施策への支援	
○ 確かな学力・健やかな体・社会を生き抜く力の育成	
・ 標準学力検査, 生活・学習状況調査の実施	85,316千円
・ 教科指導エキスパートの派遣	2,374千円
・ 小学校理科学習の充実	7,474千円
・ 小学校低学年少人数指導の実施	112,165千円
・ 幼保・小の連携	515千円
・ 小1生活・学習サポーターの配置	3,711千円
・ 小学校外国語教育推進	21,795千円
・ 新たな学校教育準備プログラム推進	905千円
・ 交流学习の推進	2,115千円
・ 特色ある高校づくり	14,906千円
・ 児童生徒の体力・運動能力向上推進	51,746千円
・ 部活動外部指導者の派遣	10,931千円
☆ 部活動指導員の配置【一次提言】	7,588千円
・ 学校給食の実施	5,604,100千円
・ 学校における食育の推進	544千円
・ 生活習慣向上への取り組み	6,224千円
・ 仙台版「たくましく生きる力」育成プログラム【一次提言】	120千円
・ 仙台自分づくり教育の推進	8,163千円
・ 仙台子ども体験プラザ運営管理	64,562千円

【基本方針2】学力・体力の向上や規範意識の醸成などを核とする学校教育施策への支援(続き)	
○ 道徳教育の充実	
・ 道徳教育の推進【一次提言】	420千円
・ 福祉教育・人権教育の推進【一次提言】	1,708千円
○ 教員の実践的指導力を高めるための研修の充実	
・ いきいき教員づくり研修構想の推進	8,474千円
○ ハンディや問題を抱えている子どもへの対応の充実	
・ 就学支援推進	1,715千円
★ 特別支援教育体制の充実【一次提言】	3,499千円
★ 特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員・介助員の配置	431,299千円
・ 特別支援学級指導支援講師の配置	52,171千円
・ 看護師の配置, OT・PT・ST等の派遣	83,056千円
・ 不登校児童生徒等に対する適応指導の充実	15,961千円
☆ 不登校学校訪問相談員の派遣	9,151千円
・ 不登校児童生徒等のサポート体制の充実	278千円
・ 不登校の未然防止の取り組み(不登校対策検討委員会の運営)	2,278千円
・ 心のバリアフリー推進【一次提言】	3,500千円
・ 外国人児童生徒等への支援	3,074千円
☆ 夜間中学設置に向けた調査研究	373千円

【基本方針3】地域と連携した家庭の教育力向上の支援	
○ 親子と一緒に学び触れ合いを深める機会の充実	
・ 親子食育講座の実施	1,662千円
・ 家庭学習ノート仙台の活用	3,480千円
○ 親の不安や悩みの解消を図る取り組みや家庭教育について学び考える機会の充実	
・ 子育て講座の実施	525千円

【基本方針4】市民の継続的な学びの創出と市民力の育成

○ ライフステージに応じたネットワークづくりや社会を生き抜く力を身に付ける学びの支援	
・ せんだいメディアテーク運営管理	647,152千円
★ 科学館運営管理	246,251千円
・ 天文台運営管理	755,433千円
・ 市民センター運営管理	617,088千円
・ 市民センター講座の実施	25,715千円
・ 図書館資料の充実	151,081千円
★ 図書館運営管理（資料購入費を除く）	457,738千円
・ 子どもの読書活動の総合的な推進	896千円
・ 託児ボランティア	70千円
・ 地域情報発信サポーター	563千円
○ 学びの成果を社会の中で発揮できる仕組みづくり	
・ 児童生徒による故郷復興プロジェクトの実施	900千円
・ 子ども参画型社会創造支援	2,094千円
○ 文化・芸術活動を通じた学びや交流の機会の支援	
・ 学校における音楽・芸術の鑑賞会の実施	42,126千円
・ アート・メディアを利用した市民力の育成	13,973千円
・ せんだい・アート・ノード・プロジェクトの実施	33,000千円

【基本方針5】地域づくりに資する学校や社会教育施設など教育資源の有効活用

○ 学校・家庭・地域が連携して学ぶ環境の創出	
・ マイスクールプラン21の推進	7,790千円
・ 学校図書室等開放の実施	6,162千円
・ 学校体育施設開放の実施	52,327千円
○ 社会教育施設の機能の充実と学びを通じた地域コミュニティ形成の支援	
・ 泉岳自然ふれあい館運営管理	130,850千円
・ ジュニアリーダー育成支援	1,423千円
・ 学びのコミュニティづくり推進	1,894千円
・ 放課後子ども教室の運営	34,836千円
・ 土曜日の教育支援体制等の構築	1,300千円
・ 社会教育施設職員研修の実施	968千円
・ 地域コーディネーターリーダー育成研修の実施	200千円

【基本方針6】安全・安心な教育環境の構築	
○ 市民から信頼される安全・安心な学びの場の整備	
・ 学校における放射性物質対策	3,594千円
・ 学校防犯監視カメラ設置工事	16,792千円
・ 学校防犯巡視員の派遣	28,041千円
・ 学校ボランティア防犯巡視員による見守り	2,587千円
○ 教育施設の適正な保全・更新等による良好な教育環境づくり	
・ 学校教育施設整備	7,875,839千円
・ 学校トイレ改修・洋式化推進事業	810,040千円
○ 急速に進展する情報社会に対応する教育の充実	
・ 学校におけるICT環境整備	957,741千円
・ 情報モラル教育の推進	1,229千円
・ 市立小中学校等へのタブレット端末整備	39,676千円
★ 教職員のICT活用能力の向上推進	9,940千円

【基本方針7】復興後を見据えた教育の推進	
○ 被災した子どもたち一人ひとりを支える取組みの推進	
・ 震災に伴う児童生徒の心のケアの実施	30,506千円
・ 被災児童生徒就学援助	12,516千円
○ 自然を正しく捉え防災力を高め、後世に震災の教訓を伝えるための取組みの推進	
・ 防災副読本の作成	5,890千円
・ 3がつ11にちをわすれないためにセンター（わすれん！）運営	14,950千円

【基本方針8】人口減少社会に対応した教育の取組み	
○ まちづくりや地域課題解決の担い手を育成する取組みの推進	
・ 若者社会参画型学習推進	1,979千円
・ 住民参画・問題解決型学習推進	2,075千円
・ 「学びのまち・仙台」市民カレッジの実施	1,140千円

【基本方針8】人口減少社会に対応した教育の取組み(続き)

○ 郷土に対する理解を深め愛着や誇りを持つ人づくり	
・ 博物館運営管理	203,108千円
☆ 特別展「戊辰戦争150年」の開催	18,091千円
・ 歴史民俗資料館運営	68,723千円
・ 富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）運営管理	105,518千円
・ 縄文の森広場運営管理	66,535千円
・ 市史活用推進	9,154千円
・ 郡山遺跡整備	379,576千円
★ 仙台城跡整備推進	29,544千円
・ 陸奥国分寺・国分尼寺跡整備	159,881千円
・ 文化財の調査・指定・登録	11,990千円
・ 埋蔵文化財の発掘調査の実施	842,629千円
・ 文化財普及啓発事業	9,260千円
○ 「育ち・学び・働き・住み」続けられる暮らしやすいまちづくり	
・ 高等学校開放講座の実施	200千円
・ 仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）の実施	3,615千円
・ サイエンススクールの実施	690千円
・ 楽学プロジェクト事業	540千円
・ 社会学級の運営支援	6,136千円
・ 科学館学習・天文台学習の実施	31,340千円
・ 学びを支える人材育成推進事業	1,238千円
・ P T A活動の支援	36,787千円
・ 嘱託社会教育主事の活動支援	1,020千円
○ 町内会活動等の地域コミュニティを踏まえた学校や学区のあり方の検討	
・ 学校規模適正化推進事業	51,053千円
○ 子どもが置かれている状況に関わらず安心して学べる環境づくり	
★ 就学援助	710,214千円
・ 遠距離通学児童生徒通学費補助	14,361千円
★ 特別支援教育就学奨励	33,117千円
・ 高等学校修学資金借入支援	3,720千円
○ 高齢者の生きがいづくりにつながる子どもとの交流支援	
・ 大倉ふるさとセンター運営管理	25,209千円

※各事業は複数の基本方針に該当するものであっても、最も関連が強い箇所に記載している。(再掲はしていない。)